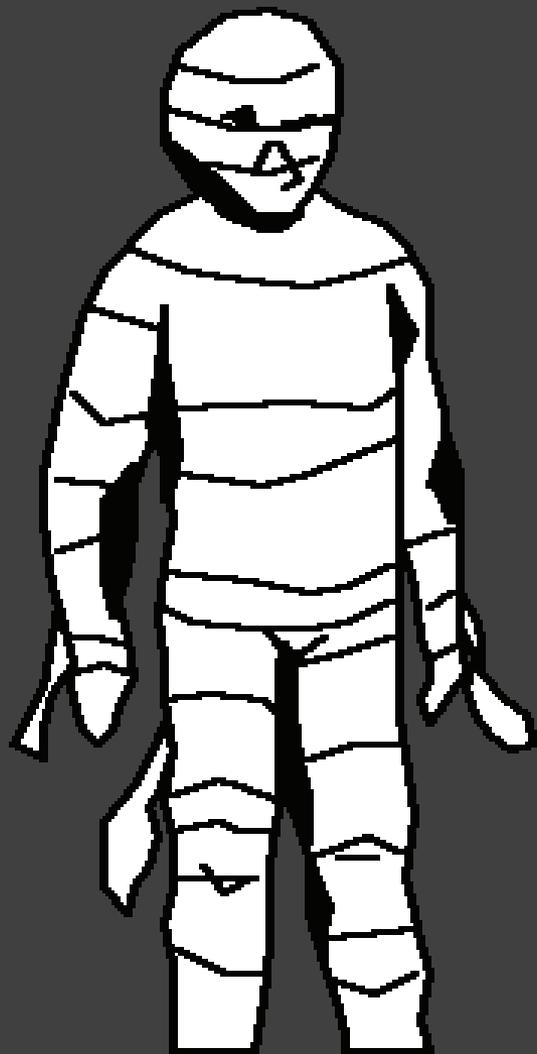


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ひと

きせきの人

エリシヤ



^{ぶん}
文: Edward Hughes

^え
絵: Lazarus

^{かいさくしゃ}
改作者: Ruth Klassen

^{ほんやくしゃ}
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

^{しゅっぱんしゃ}
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

^{きよか} 許可: ^{たにん} 他人に ^う 売らない ^{かぎ} 限り ^{はなし} このお話の ^{また} コピー、又はプリントは、
^{きよか} 許可されています。



はたけ

うし

畑をたがやす“スキ”をひっぱる牛が、たり

うし

ません。もう1とう、牛がいたらいいのですけれど・・・。でも、エリシャは、それでしごとをやめたりしませんよ。かれは1とうぐらい、

へいき

うし

たらなくても平気。たらない牛のぶんまで、ほ

うし

かの牛といっしょに、もくもくと、はたらいています。エリシャは、きつつ

よく、かしこく、そして

はたらきものだったにちがいあ

りません。





はたけ
エリシャが、畑をたがやしているときで
かみ しゃ
す。そこに、神さまのよげん者エリヤが
やってきて、かれをよびました。「エリ
シャ、エリシャ。さあ、わたしといっ
い はたけ
しょに行こう！」そこで、エリシャは畑の
かみ
しごとをやめて、神さまのしもべとして、は
ひ
たらくことにしました。ところが、ある日の
かみ おお かせ
こと。神さまは、大きいつむじ風をおこし、
てんごく
エリヤを、天国へつれていっ
てしまったのです。

さてこうなると、
こんどはエリシャ
が、イスラエルの
しゃ
よげん者ですね。





ひとり
エリヤがいなくなり、1人ぼっちのエリシャは、か
なしくてたまりません。そこで、エリシャは、神さま
いの かみ
まに祈りました。「神さま、どうぞわたしにも、エ
ちから
リヤのような力をください。」ってね。エリシャ
は、エリヤのマントをとり、まえにエリヤが
かわ みず
やったように、ながれている川の水をつよく

かわ みず
うちました。すると、川の水は、
どうなったでしょう。エリヤの
おな かわ
ときと同じように、川は2つ
わ
に分かれました。さあ、これ
でエリシャは、神さまが、いつ
かみ

じぶん
も自分とい
っしょにいてくださることが、わかりましたね。





あるとき、エリシャが、ペテルと
いう町まちへ行ったときのことで

す。
こどもたちが、かれちかに近づいてき
て、からかってさげびました。

「やーい、はげあたま！やーい、
あ
上がってゆけ！」こどもたちは、

エリシャが、神かみさまのしもべであ
ることなど、気きにもしません。

へいき
平気でばかりにしています。でも、
そのときです。とてもショックな
ことがおこりましたよ。とつぜ

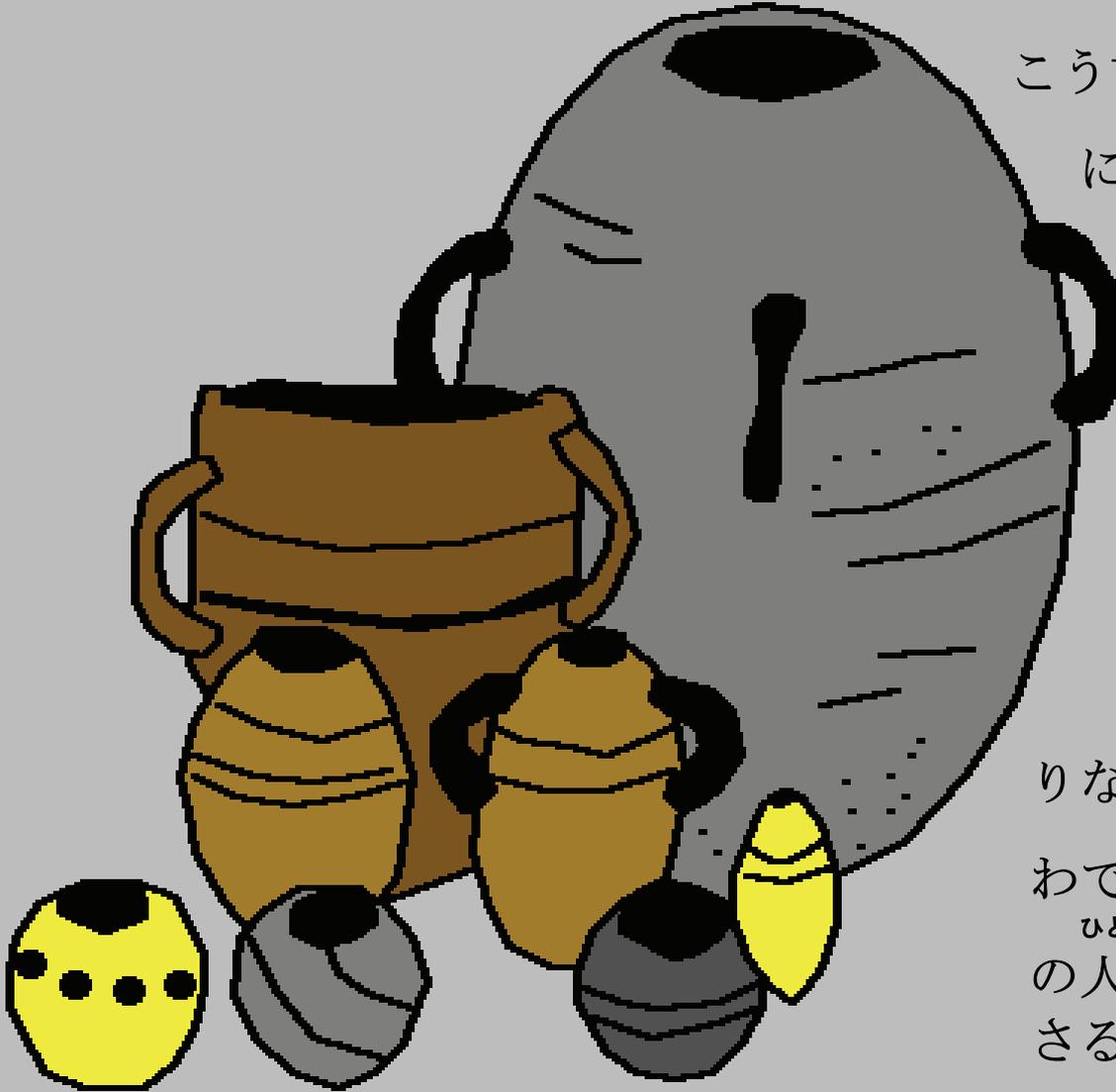
ん、2とうもりのめすのクマが、森か
らあらわれました。そして、

あーっというまにんに、42人ものこ
どもたちを、引きさひいてしまった
のです。



ある日、エリシャは、1人の女の人に出会いました。かの女は、夫を亡くし、
しかもたくさんかえの返さなければならぬかねお金がありました。お金をかした人は、

こう言いました。「お金のかわりふたりに、あなたの2人のこどもたちを、どれいとしてつれて行こう。」そこで、エリシャは、困っている女の人こま おんな ひとにこいう言いました。「さあ、近所きんじよの人のところへ行って、できるだけたくさんひとのういつわをかからりなさい……。そう、空のうかみつおんなわですよ。」神さまは、その女ひとの人になにかすばらしいことをなさるようですね。



おんな

その女の人のうちには、たった1つ

ちい あぶら

の小さな油のつぼしかありませんでした。けれども、なんとふしぎなこと

ちい きんじょ

とに、その小さなつぼから、近所か

うつわ

らかりてきたすべての器に、いっば

あぶら

いの油をそそぐことができたので

じだい

す。もし、その時代におふろがあっ

かみ

たら、神さまは、おふろにもいっば

あぶら

いの油をくださったかな？ みなさ

おも

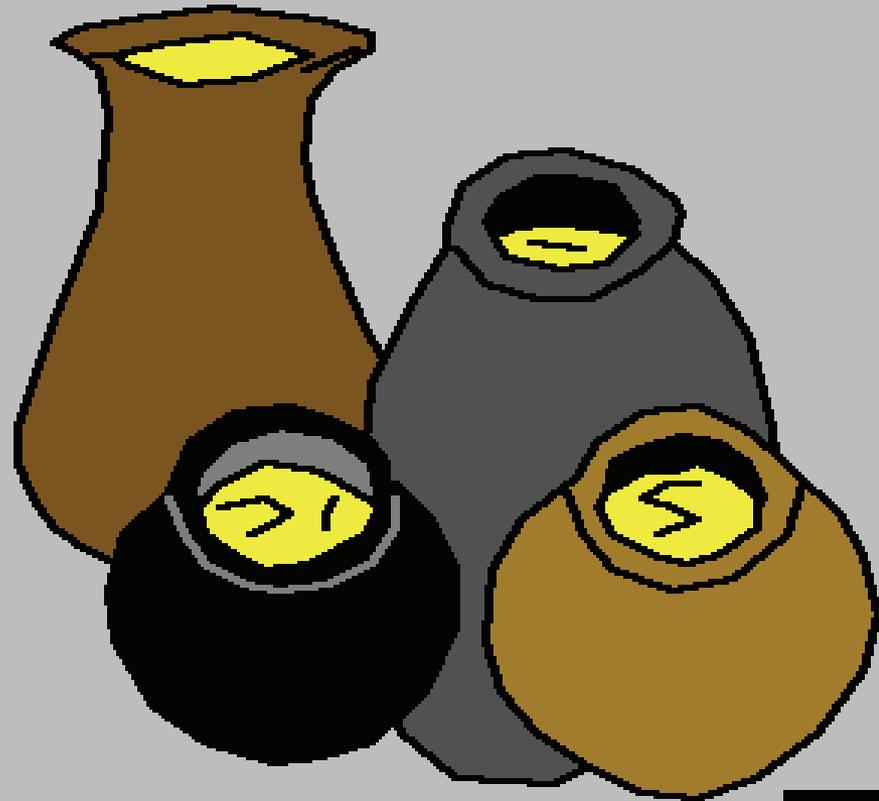
おんな ひと

ん、どう思いますか。女の人は、そ

あぶら

たす

の油を売って、こどもたちを助ける
ことができたのですよ。



おんな ひと

おっと はなし

さて、もうひとりの女の^{おんな}人と、その夫^{おっと}のお話^{はなし}をし

ましょう。かれらは、自分^{じぶん}たちのうちに、エリシヤの

とくべつな^{つく}へやを、作^{つく}ったのです。それでエリシヤ

は、かれらのうち^{ちか}の近く^{とお}を通^{とお}るたびに、

いつでもそこ^とに泊^とま
ることができました。

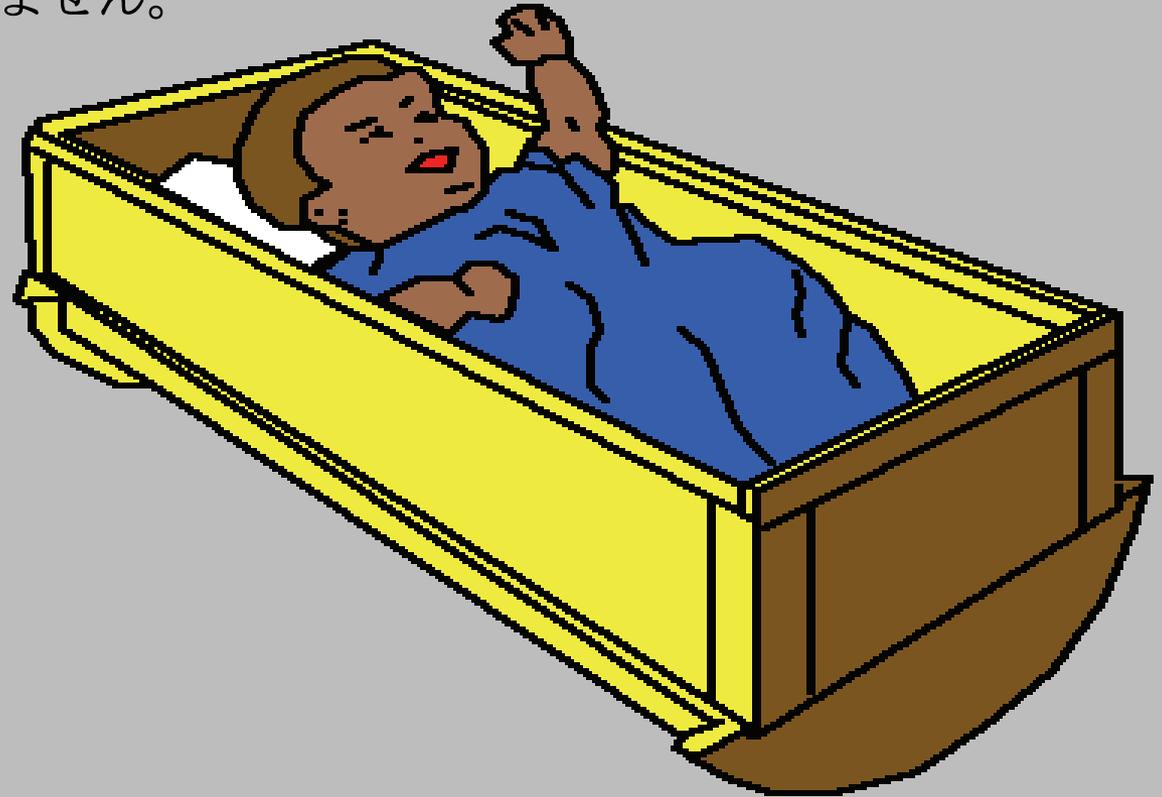
そのへやには、ベッド、
テーブル、イスそして
ランプもありますよ。

なにもかも用意^{ようい}して
ありました。エリシヤが、

いつでも泊^とまれるようになってね。



「いったい、どうしたらこのしんせつな夫婦にお返しができるのだろう。」エリ
シヤは、こう思いました。あるときエリシヤは、この夫婦にこどもがいないこと
が、わかりました。そこで、かれは、女の人に言いました。「来年のいまご
ろ、あなたは、きっと赤ちゃんをだっこしているでしょう。」女の方はびっく
りしました。とても信じられません。
でもね、それからちよ
うど1年、エリシヤが
言ったことは、ほんとうになりましたよ。
赤ちゃんがうまれたのです。



なんねん

こ はたけ

それから何年かたちました。おとうさんとその子が、畑にいるときです。とつ

ぜん、こどもが泣きだして「あたまが、ぼくのあたまが・・・。」と言うので

す。畑の人たちは、急いでその男の子を、お母さんのところへつれて行ったの

ですが・・・。子どもは、昼までお母さんのひざの上において、そのまま死んでし

まったのです。お母さんは、その子をだいて、そっとエリシャのベッドにねかせ

てやりました。かわいそうなお母さん・・・。いったいだれが、かの女を助

けてあげることができるのでしょうか。



こんなとき、あなただつたらエリシャに言いますか。そう、そうですね。お母さんは、ろばにまたがり、ものすごいはやさで、エリシャをさがしに行きました。さあ、エリシャが、かの女のうちまで来てくれましたよ。エリシャは、ひとりで2かいへ、上がって、主に祈りました。神さまは、この祈りを聞いて

くださったのです。そう、男の子は、生き返りましたよ。エリシャ

は、お母さんをお呼びに言いました。「さあ、あなたの子をだいてやりなさい。」かの女は、なんてうれしかったことでしょう！よかったですね。





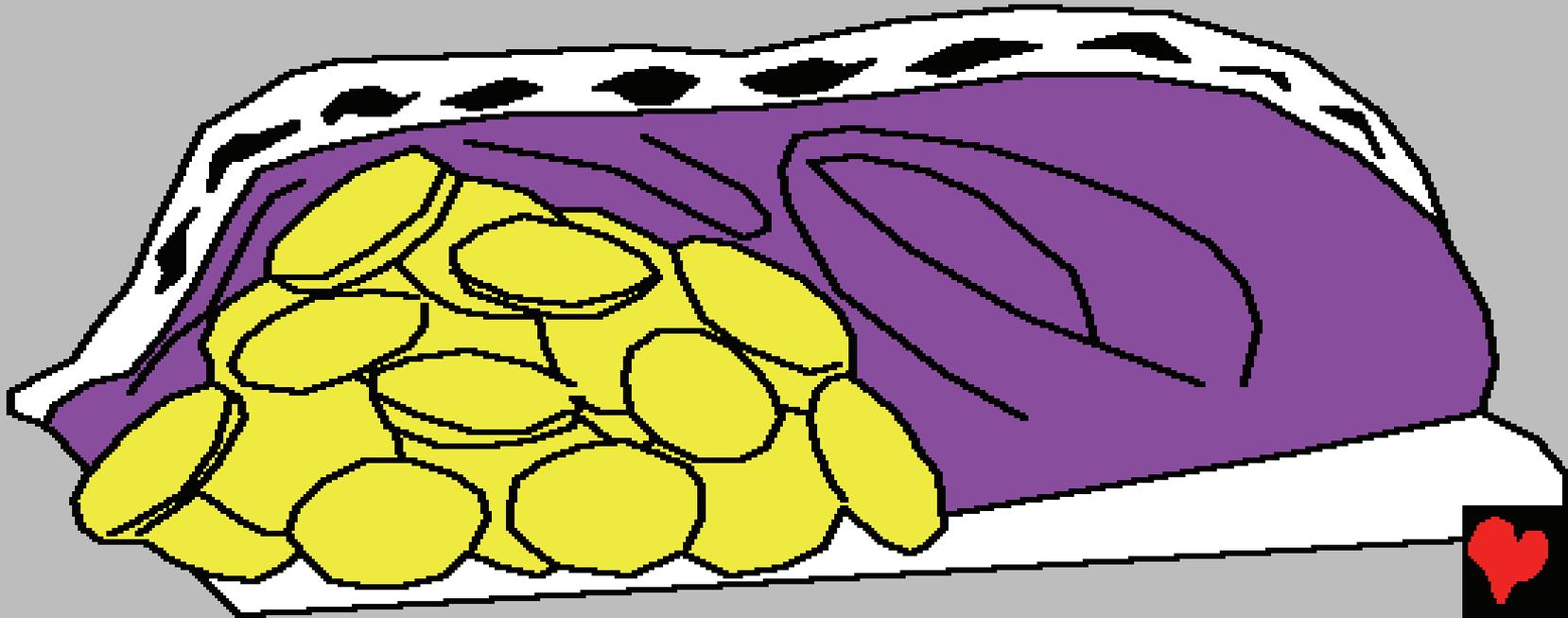
シリアというところのすぐ^{ちか}近くに、ナアマ^{ぐん}ンという軍たいのしき^{かん}官が、住んでいま^すした。かれは、とてもつよくて、ゆう^{ひと}かなな^{びょう}人でした。でも、かれは、らい^ひ病^{びょうき}というひどい皮ふの病気にかかっています。



ナアマンのおくさんは、イスラ
エルこからつれて来られた小さな
少女しょうじょを、召めしつかいに
していました。あるとき、この
小さな少女ちいしょうじょが言いました。「も
し、ナアマンさまが、イスラエ
ルのよげん者しゃのところいに行けた
らなあ。かれは、きっとナアマ
ンさまのらい病びょうを、なおしてく
ださるのに・・・。」



それを聞いたナアマン、すぐにそのよげん者に会いに出かけましたよ。かれは、
おくりものに、たくさんの金、銀そしてうつくしい服をもっていきました。





よげん者エリシヤの召しつかい
は、ナアマンにこのように言
いました。「さあ、ヨルダン川に
行って、7回からだを洗いなさい。
そうすれば、あなたの皮ふは、
きれいになるでしょう。」
ナアマンは、かんかんに怒りま
した。「そのぐらいのことな
ら、ヨルダン川じゃなくて、わ
たしの土地、シリアのきれいな
きよい川で、洗えるじゃない
か！」こう言って、怒りながら
自分の土地にもどって
いきました。





ところが、召しつかいは、「ナアマンさま、どうぞエリシャのことばにしたがってみてください。」と、なんどもなんどもすすめるのです。そこで、ナアマンは、もういちどヨルダン

川にまで行くことにしました。そして7回、川につかったのです。

さて、ナアマンの皮ふは？うわっ、ほんとうにすっかりきれいになってますよ。らいびょう

い病がなおったのです。そのとき、ナアマンは、はじめて神さまを知ったのです。

そして、ほんとうの神、エリシャの神さまを、礼拝するようになりましたよ。らいびょう病をなおしてくださった主をね。





かみ

神さまは、しもベエリシヤを、

かれが死んでしまったあとも、

用いられましたよ。ある日、

男の人が死んで、穴にうめられました。そこはね、エリシヤ

が、ずっとまえに、亡くなったあと、うめられているところで

した。その人のからだは、よげ

ん者エリシヤの骨にふれたとき

です。その人は、生きかえり立ちあがったのです。びっくりで

すね。それは、きっと神さまが

その力を、エリシヤをとおしてあらわされたのでしょう。



ひと
きせきの人 エリシャ

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

れきだい し げ しょう しょう
歴代誌下 33 章 -36 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくさいます。そして、いつまでもいエスさ
まといっしょにいることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってくさい。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくさいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のころの中に来て、罪をゆるしてくさい。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてくさい。アーめん

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましよう！ ヨハネによる福音書3：16

